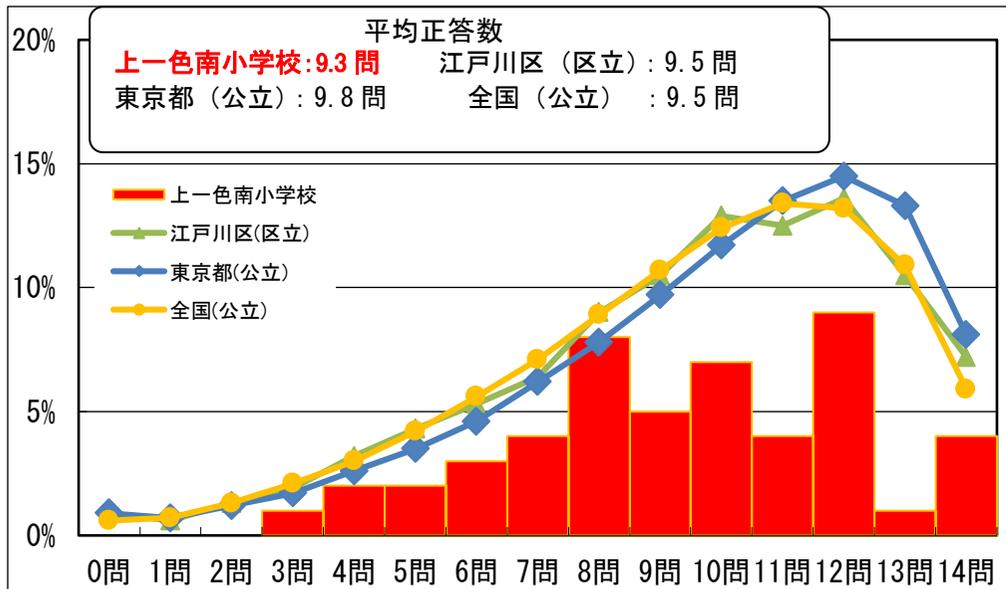


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 上一色南小学校

正答数分布



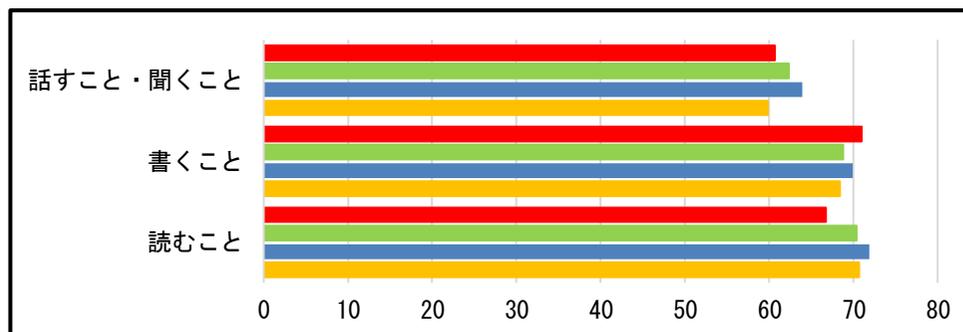
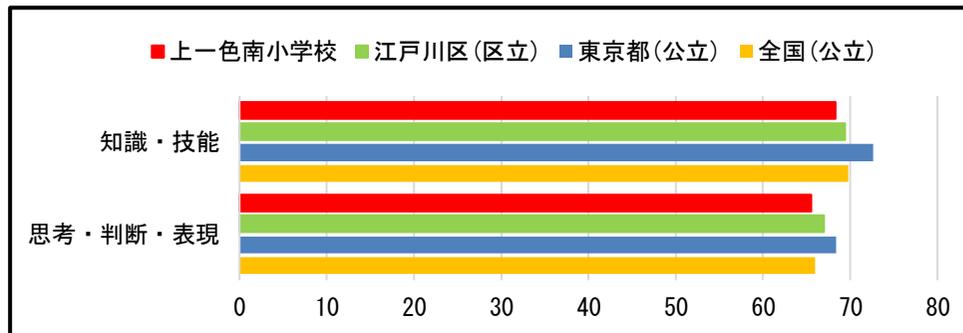
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
上一色南小学校	28.0	22.0	26.0	24.0
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

上一色南小学校	67%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	3ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

平均正答率は、全国水準とほぼ同等の値である。四分位における割合でC・D層の割合が全国に比べ5%ほど高くなっており、C層にピークが分布していることが特徴的である。領域別でみると、書くことの設定の正答率が高く、読むことの設定がやや低い傾向がみられる。

読解力の向上を目指し、音読や言語的基礎能力を高める指導に力を入れるとともに、読書科の取り組みを通して、日常的に良文に触れる機会を設けていく。